

氏名	なかもとみきお 中本幹生	職名	教授	就任年月	2016年（平成28年）9月
	<p>【学歴】 1992年3月 九州大学理学部物理学科卒業 1994年8月 九州大学大学院文学研究科哲学・哲学史（倫理学・倫理学史）専攻修士課程修了 1995年10月 ルートヴィヒ・マクシミリアン（ミュンヘン）大学哲学科に留学（1997年7月迄） 1999年3月 九州大学大学院文学研究科哲学・哲学史（倫理学・倫理学史）専攻博士後期課程単位取得満期退学</p> <p>【取得学位】 修士（文学）</p>				
		<p>【職歴】 1996年8月 ルートヴィヒ・マクシミリアン（ミュンヘン）大学日本センター非常勤講師（～1996年8月迄） 1999年4月 九州大学文学部助手（～2001年3月迄） 2001年4月 西南学院大学非常勤講師（～2016年9月迄） 2012年4月 佐賀大学非常勤講師（～2016年4月迄） 2016年4月 九州大学非常勤講師（～2016年9月迄） （この他、筑紫女学園大学、久留米大学、九州産業大学、純真女子短期大学、福岡国際大学、玉川大学、等にて非常勤講師）</p>			
	<p>【専門分野】 哲学 倫理学 美学</p>				
					<p>【研究課題】 ドイツ近代の哲学、倫理学、美学について</p>
					<p>【担当科目】 哲学概論 宗教学概論 西洋宗教史 道德教育の理論と方法</p>
					<p>【学会・社会活動】 日本哲学会 日本倫理学会 西日本哲学会 九州大学哲学会</p>

【主な研究業績】

区 分 (単・共別)	著 書 ・ 論 文 名 等	発行所・掲載誌・発表学会等	発行・発表 年 月
著 書 (共)	よく生き、よく死ぬ、ための生命倫理学	ナカニシヤ出版	2009年4月
著 書 (共)	エシックス・センスー倫理学の目を開けー	ナカニシヤ出版	2012年4月
論 文 (単)	男と女、文化と自然	西日本哲学会編『西日本哲学 年報』第十九号	2011年10月
論 文 (単)	エンハンスメント問題に関する、技術哲学の観 点からの一考察ーF. ベーコン、デカルト、 プラトン及びアリストテレスに即してー	筑紫女学園大学・短期大学部 人間文化研究所編『人間文 化研究所年報』第23号	2012年8月
論 文 (単)	ショーペンハウアーにおける美と有機体論 ーカント『判断力批判』との関わりー	九州大学哲学会編『哲学論文 集』第四十八輯	2012年9月
論 文 (単)	『判断力批判』における自然から自由への移行 の問題ー類比および目的関連 (nexus finalis) の概念に定位してー	日本哲学会編『哲学』第64号	2013年4月
論 文 (単)	自然と人間の関係を問うー機械論的自然観、 自然の権利、自然崇拜の三つのモデルに即してー	九州大学哲学会編『哲学論文 集』第四十九輯	2013年9月
論 文 (単)	道徳教育とカント倫理学ーシュヴァイツァー の生命畏敬倫理と関連させてー	筑紫女学園大学・短期大学部 人間文化研究所編『人間文 化研究所年報』第25号	2014年8月
論 文 (単)	カント道徳教育論と批判哲学 ー「自ら作る」という思想に定位したカント『教 育学』の位置づけの試みー	玉川大学学術研究所人文科学 研究センター編『Humanitas』 第26号	2015年3月
論 文 (単)	カント教育論における目的論的構造 ーカント『教育学』の整合的解釈のためにー	筑紫女学園大学・短期大学部 人間文化研究所編『人間文 化研究所年報』第26号	2015年8月
論 文 (単)	カント道徳教育論における「性格の確立」ー心 術における革命と漸進的改善の関係の問題ー	西日本哲学会編『西日本哲学 年報』第二十三号	2015年10月
論 文 (単)	自律の完成としての道徳教育 ーカントにおける「徳の獲得」の構造ー	日本倫理学会編『倫理学年報』 第六十五号	2016年3月
論 文 (単)	「生きる力」の育成における知育・徳育・体（食） 育の調和の構造ーカント教育論の視点からの一 考察	宮崎産業経営大学 教職課程運営委員会編『宮崎産業 経営大学教職課程年報』第10号	2017年3月
論 文 (単)	理性理念の統制的使用から反省的判断力の原理 へー『判断力批判』における体系的課題の成立ー	日本哲学会編『哲学』第69号	2018年4月